

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	細目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	
<b>1.使命と計画</b>					
①中長期計画					
A. 目標と計画・重点事業の構築、事業への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標の設定、具体的計画の策定状況</li> <li>事業への活用状況</li> </ul>	継続実施	指定管理制度の5か年計画を基に事業を遂行してきた。よく活用している。これまでの達成状況をもとに新5か年計画を進めている。	継続実施	【課題】新たな中期計画を念頭に入れた事業運営。 【改善案】
有識者所見		結果所見に基づき、継続してください。【戸枝】			
②評価の実施					
A. 評価の実施と結果の反映	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価及び外部評価の実施状況</li> <li>P.D.C.A.サイクルへの反映状況</li> </ul>	継続実施	自己評価は館独自の項目を加えたチェック票を使用。外部評価はアドバイザー会議や博物館評価に関する有識者会議により実施。評価内容や所見について、必ず対応策を講じ、改善できる部分から実施している。	継続実施	【課題】評価事業の実施と継続的な手法等の見直し。 【改善案】評価検討会及び有識者意見交換会等において、恒常的に協議し、見直しを具現化する。次年度からもさらに独自の自己評価を導入する。
有識者所見		計画に基づき、継続してください。【戸枝】 各評価項目について可能な限り実績値を把握し、目標値を設定して事業実施を願いたい。【加藤】			
<b>2.組織と運営等</b>					
①組織・人員					
A. 職員の研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修への参加体制の整備状況</li> <li>参加状況(種類・件数・人数)</li> </ul>	継続実施 新任職員研修:2回 まつり実施のための研修:6回:360人 不審者対策、食品衛生、接客・マナー、防災・AED使用対応、個人情報保護関係研修:各1回:延べ150人 嘱託職員研修:24回:144人	運営・事業・博物館全般・21世紀の博物館像等に関する、県主催・各種博物館協会・各館研修、学会等外部機関及び館内で行う研修会等、業務の都合で参加できない場合を除き、全員が積極的に参加する体制をとっている。 外部研修(無形民俗文化財研究協議会、救急法救急員講習等8件)に参加。研修修了者による館内部での伝達講習会なども適宜実施。まつり実施のための研修(7件)。嘱託職員研修(34件)都合49件	継続実施 新任職員研修:2回 まつり実施のための研修:6回 不審者対策、食品衛生、接客・マナー、防災・AED使用対応、個人情報保護関係研修:各1回 嘱託職員研修:24回	【課題】特になし。研修内容や成果については、研修者が報告書の形にまとめ、復命書の形で館職員に回覧し、知識の共有を図っている 【改善案】
有識者所見		多くの体験型イベントを実施しており、関係する研修には積極的に参加してください。継続し、スキルアップを図ってください。【戸枝】 AED使用対応研修については、頻度をあげるよう要望します。【加藤】			

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
②県民ニーズに則した運営					
A. 利用者数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該年度の利用者数</li> <li>・前年度比較による傾向</li> </ul>	参加体験事業参加者総数14万5千人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該年度の利用者数</li> <li>団体数、及び団体入館者数が増えている背景に、台湾からの高校生の団体が増加したことが大きく関係している。</li> <li>総数：248,704人</li> <li>(累計：6,523,463人)</li> <li>個：198,753人</li> <li>団：761団体49,951人</li> <li>一般73,900人</li> <li>高大4,574人</li> <li>学齢前12,778人</li> <li>小中74,673人</li> <li>高齢76,954人</li> <li>障害：5,825人</li> <li>体験：135,987人</li> <li>HPアクセス：332,703件</li> <li>資料閲覧：13件</li> <li>・前年度比較による傾向</li> <li>総数(93%)</li> <li>個(88%)</li> <li>団体数(122%)団体人数(114%)</li> <li>一般(98%)/高大(138%)/学齢前(86%)/小中(88%)/高齢(90%)/障害(116%)</li> <li>体験(103%)/HPアクセス(111%)/資料閲覧(320%)</li> </ul>	前年度並み	<ul style="list-style-type: none"> <li>【課題】博物館利用者の拡充。特に広報が課題。</li> <li>【改善案】マスコミなどへの情報提供や広告掲載等に更に力を入れ、周知を図る。また、団体体験を中心に、体験のアンケートの充実を図る。</li> </ul>
B. 満足度・ニーズ等の調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施方法と結果</li> <li>・結果の事業への反映状況</li> </ul>	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>入館者に対し、アンケート及び意見等の調査を実施。また、ホームページに館のアドレスを載せているため、県民から直接意見が聞けるようになっている。またブログでは、閲覧者がコメントを投稿できる体制となっている。</li> <li>アンケート結果は毎月集計し、回覧し、業務に反映させている。</li> </ul>	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>【課題】ブログ上の意見等への対応</li> <li>【改善案】新しい調査法を工夫していきたい。県内の大学と連携したマーケティングリサーチなどを進め、対象を明確に設定することで、新たな利用者の発掘・獲得を図る。</li> </ul>
有識者所見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・台湾からの添乗員に広報を依頼し、高校生以外の利用者獲得をしたい。【戸枝】</li> <li>・マスコミへの投げ入れについては、視点を変え、さらに頻度を上げていただくようお願いしたい。また、HPには周辺情報も含めて発信することで、リピーターも増加するので、周辺施設との情報発信の連携をお願いしたい。【加藤】</li> </ul>			
3.施設・設備					
①アメニティーの向上					
A. バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー対策の実施状況</li> </ul>	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>景観再現という観点があり、完全バリアフリー化は難しい。その中で、今年度はそば屋2階への階段に手すりを設置した。</li> </ul>	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>【課題】景観再現とのすり合わせ</li> <li>【改善案】職員による介助と可能な範囲でのバリアフリー化の取り組み</li> </ul>
B. アクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通機関(含誘致)と駐車場の状況</li> <li>・アクセス案内の状況</li> </ul>	サイン設置の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>8ヶ月間のJR成田線成田駅からの直通便を引き続き実施した。</li> </ul>	サイン設置の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>【課題】インフォメーションの充実</li> <li>【改善案】ホームページ等でインフォメーションを充実させる。</li> </ul>
C. ミュージアムショップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者満足度とニーズの把握状況</li> <li>・結果の反映状況</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>導線の見直し、商品の配置、新規商品の開発などを行った。売場に足を運ぶ人が多くなっている。マスコットキャラクターぼうじろーのグッズ3種を新商品として開発した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>【課題】伝統工芸品販売は館の使命と直結し、縮小は考えないがその他の商品の入れ替え、新商品の開発など工夫が必要。</li> <li>【改善案】展示施設など各所での販売の拡充、無料エリアへの売店設置についても検討。</li> </ul>
有識者所見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・園路の補修がされていて歩きやすくなった。トイレの洋式化も。外国人誘致は必要です。車いす利用者と各施設の敷居の関係はどうか。職員などが介助されているのか。【戸枝】</li> <li>・ミュージアムショップについては、改善案に基づき、専門家の意見も聞きながら、抜本的な見直しをお願いしたい。その際、軽飲食についても、考慮していただきたい。【加藤】</li> </ul>			

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目					
<b>4.財源</b>					
①予算の確保					
A. 入場料収入・その他の事業収入	・当初計画に対する収入の達成状況  ・その他の収入の状況	26年度入場料収入目標18,000千円 26年度事業収入目標47,000千円	入場料収入: 17,120,840円 目標値比95%/前年度比105%  事業収入: 4,845万円 目標値比103%/前年度比108% 製作体験費や生産物販売などの収入が伸びた。	前年度並み	【課題】入場料収入が生じる層の掘り起こしの強化が課題。 【改善案】特に広報に力を入れ、マスコミなどへの情報提供を進める。
有識者所見		・課題の解決に努力してほしい。江戸野菜の販売はマスコミ受けするでしょう。【戸枝】			
②館独自の財源獲得					
A. 外部助成金等の獲得	・獲得計画に対する達成状況		地元の地域振興を主眼とした事業として、「江戸野菜プロジェクト」を立ち上げ、農水省交付金を申請。	計画的申請	【課題】多方面での情報収集 【改善案】次年度以降も農水省交付金を申請予定
有識者所見		・職員の資質向上のためにも、毎年度外部助成金の獲得を目指していただきたい。【加藤】			
<b>5.収集・保存及び活用</b>					
①資料の管理と収集					
A. 収蔵点数と収集点数	・収蔵資料の件数と点数  ・新収集資料の件数と点数	継続実施	・収蔵資料点数: 3,536点、10,605箱 受託: 23/ 寄付: 2,931/ 購入: 350 ・新収集資料はなし。収蔵施設も十分でなく、館の性格上積極的な収集は行っていない。	継続実施	【課題】特になし 【改善案】
B. 登録	・収蔵資料の管理(台帳等整備)状況	継続実施	・登録点数/収蔵点数: 100 %	継続実施	【課題】特になし 【改善案】
C. 維持管理と修復・保存処理	・定期的な維持管理の実施状況  ・資料の修復作業・保存処理の状況	必要に応じて実施	定期的な維持管理はされているが、収蔵庫の温湿度管理は、空調設備がなく資料保存上問題。一部、収蔵庫では、毎日除湿器の稼働・排水を行っている。風土記の丘資料館では、温湿度の影響を受けない資料は一般収蔵庫に、金属資料・写真資料は特別収蔵庫に収蔵し、年度後半から温度・湿度データロガーを購入し、記録している。収蔵庫は関係者以外立入禁止で施錠。民俗資料はIPM(総合的害虫管理)により管理している。風土記の丘資料館特別収蔵庫とむらの民俗資料の収蔵場所について、IPM調査を行った結果、害虫もなく、温湿度とも適正に保たれていた。資料館資料は保存処理済み。民俗資料は行っていない。考古資料の整理作業の中で軽微な修復を行った。東日本大震災により破損した「銀象嵌大刀」については、館内での修復が困難かつ予算面に対応できないため未着手。	継続実施	【課題】地震により破損した文化財の修復。 【改善案】常設展示の資料換え計画なども念頭に置きながら、修復予算の要求を継続。
有識者所見		・適切な資料管理が行われていると考える。空調設備不調については、収蔵資料に十分気をつけて下さい。被災資料の修復についても、予算獲得を働きかけてください。【戸枝】 ・収蔵品の適正な管理は、館の最も基本的な使命であるので、最優先で適正な管理に努めていただきたい。【加藤】			

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目		H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目	評価の視点				
<b>②資料の活用</b>					
A. 要望に応じた貸出等	・ 研究や展示等、資料の貸出状況	要望に対して「貸出等を行っている。	●長期(通年)貸出:7件212点(全て実物資料) ●短期貸出:18件144点(実物資料7件102点、写真11件42点) ●撮影掲載(広報は別):15件(実物2件、写真動画13件) ●資料閲覧:13件	継続実施	【課題】特になし 【改善案】H25年度までは、資料の貸出について「実物」「画像」「閲覧」の件数を報告していたが、今年度から、より正確な数として、年報に準じて、「長期(通年)貸出」「短期貸出」「撮影掲載」「資料閲覧」に分類し報告する。
有識者所見		・長期貸出資料については、年度ごとの資料(利用)報告が必要と思います。【戸枝】			
<b>③図書室の公開</b>					
A. 図書資料の閲覧	・ 閲覧システムの構築状況  ・ 利用状況と利用者満足度	継続実施	資料館1階情報室にて房総のむら発行の図録等の閲覧が常時可能になっている。	継続実施	【課題】職員が他業務と併せて行っているため、最新の学術雑誌などの整理が一部遅れ気味 【改善案】担当職員の増員
有識者所見		・ボランティアの協力をえたらどうか。【戸枝】			
<b>6.調査・研究</b>					
<b>①調査事業</b>					
A. 調査事業の件数	・ 使命に基づく調査研究の実施状況	当館の使命に基づいた調査・研究を行っているか	演目や企画展に関連する調査を中心に、必要な調査活動を行った。	継続実施	【課題】調査・研究の継続性 【改善案】研究テーマに基づく職員間のコミュニケーションの活発化を促す。
有識者所見		・改善案に沿って行い、多くの職員が必要情報を共有できるようにしてください。【戸枝】			
<b>②外部との調査・研究</b>					
A. 外部との調査研究の件数	・ 共同研究等の実施状況	外部団体等と共同して調査研究を行っているか	史跡龍角寺古墳群・岩屋古墳の整備・活用に向けて、栄町教育委員会、成田市教育委員会と共同で研究を行っている。	必要に応じて実施	【課題】史跡岩屋古墳・浅間山古墳の整備と活用 【改善案】岩屋古墳昇降階段施設など具体案の協議
有識者所見		・改善案の実現に向けて進めてください。集客増になります。保存と活用について、十分検討が必要。【戸枝】			
<b>③研究成果の発表</b>					
A. 展示等への反映	・ 展示への反映状況  ・ 普及事業への反映状況	継続実施	トピックス展、企画展、観察会、景観整備、体験事業などに反映した。 企画展図録「もめんー房総の木綿文化ー」を刊行した。また、各人による学会誌などへの発表も行われている。	継続実施	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見		・展示計画に沿って、実施してください。良い展示を行っていると思います。【戸枝】			

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目		7.展示			
①常設展示					
A. 展示の更新と保守・点数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 展示替の実施状況</li> <li>・ 保守・管理の実施状況</li> </ul>	計画的な展示替え、展示の保守・管理が行われているか	計画通りに展示替をしているが、体験や行事毎に各施設で展示替えを行っているため、数値化は難しい。	継続実施	【課題】風土記の丘資料館常設展のリニューアル 【改善案】H27年度からリニューアルに向けた本格的な資料調査を開始する。
B. 満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者満足度の把握状況</li> <li>・ 結果の反映状況</li> </ul>	満足度アップ(ほぼ満足以上が90%以上)を目指す	アンケートでは、ほぼ満足、満足の合計は96%、不満やや不満は4%であり、概ね好評価をいただいている。(アンケート結果有効回答)満足77%ほぼ満足19%やや不満4%不満0%	満足度アップ(ほぼ満足以上が90%以上)を目指す	【課題】アンケートの満足度欄の記入方法。 【改善案】
有識者所見		・課題どおりと思います。展示計画と予算が必要になります。【戸枝】			
②企画展示(変更)					
A. 企画数、利用者数、満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施状況</li> <li>・ 年齢・地域等入場者の動向把握</li> <li>・ 来館者満足度の状況</li> </ul>		<p>平成26年度特別展「もめん一房総の木綿文化ー」開催時、展示室にアンケート用紙を設置し、展示担当者は入場者動向の分析も行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企画展入場料: 一般200円、高・大生100円</li> <li>・ 特別展総入場者数: 3,394人</li> <li>・ 印刷物: 展示解説図録(800円)</li> </ul> <p>-----</p> <p>【利用者年齢構成】 成人: 987人 学齢前: 84人 小中生(引率者含む): 1,294人 高大学: 9人 65歳以上: 924人 特別支援者・介護者: 96人</p> <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入場料金について: 適切86%、「安い」という意見を加えると95%が入場料に対して満足していただけました。</li> <li>・ 全体的な印象についての評価(とてもよい・よい・ふつう・あまりよくない・悪い): 「とてもよい」「よい」という意見が、全体の94.4%、「ふつう」を加えると100%のお客様が、展示を評価してくださった。特に、展示会場内の体験コーナーに対する評価の声が非常に多かった。</li> </ul>	継続実施 H27年度は、鍛冶体験事業を活かして、近世・近代の鍛冶をテーマに企画。満足度のアップを目指す。	【課題】ニーズの検証 【改善案】検証結果を次回展示に反映させる。
有識者所見		・毎年、千葉県・地域に関する企画展を開催している。【戸枝】			
③企画展示(変更なし)					
A. 企画数、利用者数、満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施状況</li> <li>・ 年齢・地域等入場者の動向把握</li> <li>・ 来館者満足度の状況</li> </ul>	継続実施	トピックス展、観覧会、景観整備、体験事業などを実施した。企画展毎に展示室にアンケート用紙を設置、展示担当者が入場者動向の分析を行っており、アンケートの結果も概ね好評であった。	継続実施	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見		・計画に沿って、実施してください。【戸枝】			

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目					
<b>④館外での展示</b>					
A. 企画数、利用者数、満足度	・ 実施状況(要望件数等)  ・ 利用者が満足しているか	継続実施	7回 「成田国際空港体験イベント」「伝統文化の森まつり」「いんばふれあいフェス」「佐倉時代まつり」「圏央道PRイベント」などで館の内容を紹介するミニ展示や、体験学習コーナー設置の要望があり、実施した。	継続実施。外務省の千葉県PRIにも参加予定。	【課題】学校などから本格的な展示の要望があった場合の対応。 【改善案】他の県立館との役割分担。
有識者所見 ・積極的に参加してください。西の市での江戸野菜紹介も良い企画でした。【戸枝】					
<b>⑤他館との合同企画による展示</b>					
A. 企画数、利用者数、満足度	・ 実施状況(ネットワーク)  ・ 利用者が満足しているか		2件:「もめんー房総の木綿文化」「出土遺物巡回展(+解説会)」を実施した。 アンケートの結果、概ね好評であった。  出土遺物巡回展＝利用者52,296人 アンケートの結果、概ね好評であった。	継続実施	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見 ・企画展計画には他館資料、人材の活用も図るようにしてください。【戸枝】 ・他館との連携を強化され、協働企画展などの開催を願いたい。【加藤】					
<b>8.教育普及事業</b>					
<b>①参加体験事業</b>					
A. 回数と参加者数、満足度	・ 種類と回数、参加者数  ・ 参加者は満足しているか	体験学習参加者総数14万5千人	演目：年間 460種類(実演含む) ・まつり等イベント：7種 ・連携事業(音楽会・ウォークラリー等)：5種 随時受付があるため、正確な回数は算出不能。 アンケートでは、体験者は概ね、満足・やや満足と回答している。 体験参加者総数：135,987人 入館者数の減少にともない、体験者数も減少した。まつり等のイベントを含む土・日に悪天候が多かったことが要因の1つと考えられる。	体験学習参加者数 入館者の50%	【課題】技術の入口から高度な段階の習得までを見据えた演目開発をすることで、内容の充実をはからなければならない。 【改善案】
有識者所見 ・多くの参加メニューがあり、体験を選択できる。また、イベントも多く実施している。【戸枝】					
<b>②講演会・講座</b>					
A. 回数と参加者数、満足度	・ 種類と回数、参加者数  ・ 参加者は満足しているか	・考古学講座、むらの寺子屋、おもしろ講座各年4回 実施：定員充足率95%総数約532人	11回 ・考古学講座(4回)・むらの寺子屋(3回)おもしろ講座(4回) ・参加者数：651人(定員充足率：116%) おもしろ講座に皿回しを新たに加えてみたところ、とても簡単にでき、外国の方にも人気であった。考古学講座は、毎回安定した集客力があり、特に「岩屋古墳の発掘から」は人気が高かった。 ・非常によかった、面白かったという意見が多かった。	継続実施 満足度アップを目指す	【課題】 【改善案】
有識者所見 ・考古学講座には、リピーターも多くいると思う。継続してください。【戸枝】 ・他館の人材や研究者の協力もいただき、充実を図ってください。【戸枝】					

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目					
細目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
<b>9.情報の発信</b>					
①県民への直接的な情報提供					
A. 電話・来館面接等の質問	・ 件数と対応状況	継続実施	職員が在館していれば、休館日や時間外でも対応している。各施設担当者への電話や来館による質問や問い合わせが、日常的になされており、正確な件数把握は困難である。	継続実施	【課題】職員個々の対応力アップ 【改善案】対応体制の充実
有識者所見	・ 来館者の質問には親切、ていねいな対応がされていると思います。【戸枝】				
②メディア					
A. 館事業(含調査研究)の情報提供	・ 提供件数 ・ 掲載件数の状況	継続実施	チラシ定期的な情報発信 有料紙面による広報広告などの展開協力要請への対応	継続実施	【課題】企画展時などのメディアへの情報発信。 【改善案】積極的発信を目指す。
有識者所見	・ メディアへの露出数が多くなっている。継続してください。情報誌への掲載も効果大です。【戸枝】 ・ 提供件数、掲載件数の状況を把握して、引き続き積極的な発信を願いたい。【加藤】				
③ホームページ					
A. ホームページによる情報発信	・ 更新件数 ・ 資料登録件数の状況 ・ アクセス数の状況	継続実施	ブログの定期的な更新 : 159回 資料検索システムの登録件数 43,002件 アクセス件数3,327,031件	継続実施	【課題】 【改善案】件数等の充実 はもとより、幅広い層への内容の充実も図る。
有識者所見	・ 他館と比較しての情報更新頻度、アクセス数は評価しているが、さらに情報更新頻度を向上していただき、アクセス数の閾値を超えていただきたい。【加藤】				
④刊行物					
A. 印刷物による広報	・ 種類と部数 ・ 配付等の状況	継続実施	体験のしおり : 3,500部 大木戸 : 2,500 × 2 = 5,000部 企画展図録 : 300部 一般販売及び関係者への配布	継続実施	【課題】紙媒体の有効活用 【改善案】効果測定を行い、戦略的な広報活動を実施する。
有識者所見	・ 外国語リーフレットが用意されて、手に取る外国人利用も多い。【戸枝】 ・ 可能であれば、全ての刊行物についてHPからのダウンロードも可能になるよう検討いただきたい。【加藤】				
<b>10.県民参画</b>					
①県民との協働					
A. ボランティア	・ ボランティア活用システムの構築 ・ 登録者数と活動状況 ・ 育成のための研修等の実施状況	継続実施	活動日数に差があるが、本館の趣旨を理解し活動している。ボランティアからの提案を受け、昔の遊び方を指導する活動の場を新たに設けた。 登録者数 : 76人 活動延べ人数 : 1205人 活動延べ日数 : 552日 総会及び定例会 (2回 : 41人) (新人研修会2回 : 7人)等で活動内容を確認しながら進めている。 特に学芸員による企画展、トビックス展の解説を行った。また、今年度から、新規のボランティアに対して研修会を実施し、7人が登録した。	継続実施	【課題】必要な研修内容のリサーチ 【改善案】ボランティアとの対話の中で随時改善を図るなど必要な事項の検討及び具現化
B. 県民からの情報提供	・ 情報入手体制の状況 ・ 対応状況	継続実施 (会員数増減なし)	電話、電子メール、アンケート、体験者との対話等、日常的に得られるので、件数ははかりかねるが、資料調査等博物館の様々な活動の情報源のひとつとして積極的に取り入れている。	継続実施	【課題】特になし 【改善案】
C. 友の会	・ 会員数(増減) ・ 活動状況(館との連携・単独事業)		会員数 : 56(賛助会員7含む) 写生コンクール、ふるさと祭り等の協働開催		【課題】特になし 【改善案】
有識者所見	・ ボランティアの意識は高いと言える。接遇も良いと思います。【戸枝】 ・ 友の会の位置づけを明確にして、会員数の拡大を願いたい。【加藤】				

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
②外部との連携・調査					
A. 実施の状況	・ 受入態勢等の構築状況  ・ 実施状況		ユニセフ協会千葉県支部と共同で館内を会場のウォーキング、栄町との共催でさくらまつりと地域感謝デー、栄町産業まつりへの参加、栄町産業課・栄町商工会・栄町観光協会と連携し、栄町のPR、特産品の紹介などに努めた。また、「江戸野菜プロジェクト」を立ち上げ、地元の農家と共に地域振興を計る企画を立ち上げた。	地域との連携を図り、更なる充実を目指す	【課題】 【改善案】
有識者所見 ・継続してください。【戸枝】					
11.人材育成					
①博物館実習					
A. 回数・人数	・ 受入態勢等の構築状況  ・ 回数、校数と参加者数	博物館実習 前年度並み	原則1大学1人の受け入れ体制で実施している。 1回7校7人	継続実施	【課題】特になし 【改善案】
有識者所見 ・継続してください。【戸枝】					
②教員等研修					
A. 回数・人数	・ 受入態勢等の構築状況  ・ 回数、校数と参加者数	教員研修 前年度並み	「教職員を対象とした博物館研修会」参加者は下見や体験の相談を兼ねて参加しているため参加希望者は多い。県外や中学校からの参加も見られる。しかし、教委等との行事調整をしていないため参加が出来ないという意見も寄せられた。館主催の研修会2回：40名(24校) ＜学校別内訳＞小学校20校、中学校2校、特別支援学校2校。 ＜地域別内訳＞東葛7校、北総8校、葛南3校、千葉市2校、市原2校、茨城県1校 その他に印旛地区第2部会「総合的な学習研究部研修会」が実施された	継続実施	【課題】参加希望者数の増加への対応 【改善案】教員研修会開催日数の増加。
有識者所見 ・各教育委員会の行事を調査して、開催してください。【戸枝】 ・ 県南、県東部など遠隔地からの参加を促進させる施策を講じていただきたい。【加藤】					
③職場体験学習・インターンシップ					
A. 回数・人数	・ 受入態勢等の構築状況  ・ 回数、校数と参加者数	職場体験・インターンシップ等 前年度並み	小・中・高・大生による職場体験、インターンシップ等参加者14校31人。その他に教職員フォローアップ研修等に13校21人参加	前年度並み	【課題】 【改善案】
有識者所見 ・多く受け入れていると思います。受入れ学校については、例年化が望ましい。【戸枝】					



大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目					
12. 県民等からの依頼による学習支援					
① 展示等の活用					
A. 解説の回数、利用者数と満足度	・回数と利用者数 ・利用者ニーズの把握状況	前年度並み	常設展については、団体解説の要望が年々増加しているが、ボランティアの協力もあり、対応できるシステムとなっている。		【課題】 【改善案】
有識者所見					
② 館内での講座・講演会					
A. 講座・講演会の回数・利用者数と満足度	・回数と利用者数 ・利用者ニーズの把握状況	前年度並み	11回 ・考古学講座(4回)・むらの寺子屋(3回)おもしろ講座(4回) ・参加者数:651人(定員充足率:116%) おもしろ講座に皿回しを新たに加えてみたところ、とても簡単で、外国の方にも人気であった。考古学講座は、毎回安定した集客力があり、特に「岩屋古墳の発掘から」は人気が高かった。 ・非常によかった、面白かったという意見が多かった。	前年度並み	【課題】職員の専門性を活かした講演会・講座の回数が少なめ。講演内容の多様化と実施方法の検討 【改善案】内容に応じて、広報ターゲットを変えるなど工夫する。
有識者所見					
③ 学校連携					
A. 学校団体の受入	・受入校数と回数、人数 ・利用者ニーズの把握状況	前年度並み	総数:458校 31,446人 小中等の内訳 小学校:402校 27,782人 中学校:12校 1,550人 その他:44校 2,114人 体験数:390件949回 36,866人 学校等の団体の受け入れ態勢が整っており、学習支援の場を提供している。	前年度並み	【課題】中学生向けの演目の開発 【改善案】中学校教師への解説会や研修会の充実。
B. 出前授業	・実施校数と回数、人数 ・利用者ニーズの把握状況	前年度並み	5校 5日間:123人 出張授業にも都合のつく限り、学習支援の場を提供している。	前年度並み	【課題】 【改善案】
有識者所見 課題のとおり、中学生の滞留時間と内容が関係あると思います。中学校の利用調査を実施したらどうか。【戸枝】					
④ 外部講師依頼					
A. 依頼の状況、回数と人数	・支援体制の状況 ・回数と参加者数 ・利用者ニーズの把握状況		・業務に支障のないよう、館内職員の協力を得ている。 ・10回:10人		【課題】 【改善案】
有識者所見					

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目					
13.地域づくりへの支援					
①地域との連携事業					
A. 機関・地域住民等との連携	・ 実施状況(種類と件数) ・ ニーズの把握の状況		22機関、12件 栄町をはじめとした機関との連携を進め、地域のニーズに込えている。		【課題】 【改善案】
有識者所見					
②観光資源としての活用					
A. 県外団体来館数	・ 団体数 ・ 地域等の傾向		242団体13,509人(うち海外団体2,955人)	上昇傾向を目指す	【課題】利用促進 【改善案】観光業者等への更なる情報提供を図る。
B. 外国人入場者数	・ 利用者数 ・ 地域等の傾向		・6,183人 ・配付資料の種類 15種類(館パンフ英・韓・中・繁)、ウエルカムカード(英・韓・中・繁)、ようこそ日本!スペシャル体験パンフ(英・韓・中・繁)、モデルコースパンフレット(英・中・韓国) 台湾・タイ国の団体が増加し、過半数を占めている。特に、台湾の団体では、地元の高校とタイアップしてホームステイの高校生の受入れを進めている。	上昇傾向を目指す	【課題】海外メディアへの積極的なPR 【改善案】国・県による海外メディアの取材を受け入れる事業に積極的に参加する。
有識者所見		・観光立県です。外国人の利用は多いし、今後も多くなると思われる。台湾・タイの添乗員等への広報資料配付とともに、利用実態をさらに調査し、より多くの獲得を目指すようにしてください。他言語リーフレットも用意されているので、効果があると思われます。パンチ等も多く必要とするでしょう。【戸枝】 ・県庁観光部門や周辺事業者との協働をさらに進めるとともに、Wi-Fiの設置による利便性の向上を願いたい。【加藤】			